



## おもちゃ箱とめ プラス（放デイ）事業所における自己評価総括表

事業所名	おもちゃ箱とめ プラス			
保護者評価実施期間	令和 8 年 3 月 2 日		～	令和 8 年 3 月 23 日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	15
従業者評価実施期間	令和 8 年 3 月 6 日		～	令和 8 年 3 月 17 日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 25 日			

### ○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている 取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に対して丁寧な関わりを持つことができてきている	こまめな体調や健康観察を行い、感染防止対策の徹底に努めている。	活動等での場面において、様々な制限が軽減できるような工夫とコミュニケーション手段の取り組みを常に考えていきます。
2	子どもは安心感をもって通所していること	・毎日笑顔で出迎え、子どもたちの思いや考えを否定せずに受け入れるよう意識して接している。	不安感のある子どもに対しては個別に相談する機会を設け、安心して過ごせるよう考えたい。
3	事業所の支援に満足していること	・休日や長期休業中には外出や買い物学習、調理実習などの活動を取り入れ、社会経験を積めるように工夫している。	これからも保護者のニーズを把握し、より細やかな支援を目指したい。

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定子ども園、幼稚園、または放課後児童クラブや児童館との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会があまりない。	活動中に交流の機会を設ける事が難しいため。	交流の機会につなげていけるよう、担当者会議などの際に、保育所や学校の先生とコミュニケーションを取るようになっていきます。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	現状、機会を設定するのが厳しい。	事業所には、ペアレントトレーニング研修修了者が1名在籍しているので、実施していきたい。また基幹センターでの受講も検討したい。
3	事業所では、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていない。	事業所の職員間では周知できており、発生を想定した訓練も行われているが、保護者への周知徹底ができていない。	ブログやお便り等で保護者への周知・説明の方法をさらに徹底していきます。